

幸町地区総合整備方針

令和7年2月

呉市企画部企画課

1 幸町地区総合整備コンセプト・機能

(1) 総合整備コンセプト

呉の歴史と文化を未来へ～つどう・つながる・感じる・育む～

(2) 幸町地区に配置する機能

①呉の歴史を伝え、感じる施設、②文化・芸術に親しみ、発信する施設、③まちの情報発信・賑わいの拠点

2 幸町地区施設整備計画



(注) 新美術館・ホールの建物の配置・形状、青山クラブの在り方等は、今後、幸町地区総合整備基本計画や、美術館あり方検討委員会での議論を踏まえて決定します。

3 各施設の整備方針

(1) 青山クラブ

整備方針	・青山クラブの建物の印象的なRの形状の部分のイメージを継承することを重視して、建物を一部保存する。 ・建物の一部保存の範囲及び保存方法については、柔軟に設定する。 ・具体的な整備内容については、一部保存やデザインの継承による新築整備も含め、柔軟に検討する。
配置する機能	③まちの情報発信・賑わいの拠点 ・情報発信コーナー・フリースペース ・カフェ・レストラン、物販施設、宿泊施設（民間事業者のニーズを把握しながら検討） ・多目的スペース・貸室 ②文化・芸術に親しみ、発信する施設 ・文化・芸術活動ができるスペース、音楽活動練習室等
整備スケジュール	・令和8年度に調査（一部保存部分の活用に向けた詳細調査、建物解体部分の活用する部材等に関する調査）を実施し、令和9年度に建物の解体を行う予定 ・一部保存部分については、令和9年度から設計・工事を実施し、令和13年度の供用開始を予定

(2) 桜松館

整備方針	・建物を解体して、美術館通りから直接アクセスできるオープンスペースとして整備する。 ・桜松館のホールの部材の一部は、新美術館に整備するホールに移設して活用する。
配置する機能	③まちの情報発信・賑わいの拠点 ・オープンスペース
整備スケジュール	・令和8年度に調査（建物解体部分の活用する部材等に関する調査）を実施し、令和9年度に建物の解体を行う予定 ・桜松館跡地のオープンスペースについては、令和8年度から設計・工事を実施し、令和11年度の供用開始を予定

(3) 新美術館

整備方針	・ 青山クラブの建物の解体部分及び中庭の一部に美術館を新築整備する。 ・ 桜松館のホール機能を移転し、講演会や作品展示、音楽コンサート等が開催できる小規模なホールを整備する。
配置する機能	②文化・芸術に親しみ、発信する施設 ・ 美術館，ホール等
整備スケジュール	・ 令和9年度から設計・工事を実施し、令和13年度の供用開始を予定

(4) 現美術館

整備方針	・ 建物を改修して、歴史展示室・収蔵庫等として活用する。
配置する機能	①呉の歴史を伝え、感じる施設 ・ 歴史展示室・収蔵庫，文学館等
整備スケジュール	・ 新美術館の供用開始（令和13年度）以降の改修工事の実施を予定

(5) 入船山記念館

整備方針	・ 既存施設の保存・活用に向けた整備を進めるとともに、現美術館への一部機能の移転（歴史展示等）を検討する。
配置する機能	①呉の歴史を伝え、感じる施設 ・ 通常の見学に加え、ユニークベニュー（歴史的建造物や公的空間等で会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場）としての活用 ・ 歴史資料の活用及び収蔵機能の充実
整備スケジュール	・ 適宜、保存・活用に当たり必要となる調査、整備等を実施予定

(6) 幸町地区全体

整備方針	・ 旧長官官舎から海に見える眺望の確保 ・ 土砂災害特別警戒区域への対策 ・ 幸町地区内の回遊性向上案の検討（バリアフリー対応、空中回廊や園内一周路の整備等）
整備スケジュール	・ 令和9年度から設計・工事を実施し、令和12年度以降の供用開始を予定

※各施設に配置する機能については、今後、幸町地区総合整備基本計画を策定する中で決定します。

4 中央地区における回遊性の向上

- ・幸町地区は、呉駅、呉市海事歴史科学館及び中央地区商店街の近隣に位置しており、中央地区の回遊性向上に向けた取組を進めていく必要があります。特に、現在、中央地区で進められている呉駅周辺地域総合開発、呉市海事歴史科学館リニューアル及び呉まちなか公共空間デザインとの相乗効果が得られるよう、連携しながら動線を検討するなどして、幸町地区総合整備を進めていきます。
- ・呉市海事歴史科学館の来訪者に、幸町地区を訪れてもらえるような、ハード・ソフト両面からの対策を進めていきます。
- ・幸町地区総合整備の実施に当たっては、入船山公園多目的広場における陸上競技場の整備と、共用施設などについて、調整しながら検討を進めていきます。

5 整備事業費（概算）

項目	事業費	備考
新美術館・青山クラブ整備費	約 6 5 億円	・新美術館 約 3 2 億円 ・青山クラブ 約 3 3 億円（※） （※）青山クラブの1階から3階までの保存・活用をした場合の事業費
桜松館解体費	約 3 億円	
現美術館改修費	約 7 億円	
合計	約 7 5 億円	

※事業費は、建物の概算整備費用であり、展示製作費や、中庭・オープンスペース・空中回廊等の整備費は含んでおりません。

※整備に当たっての財源については、内閣府の地方創生関連交付金や、防衛省の補助金、起債などの活用を検討します。

6 今後のスケジュール

令和7年度に、幸町地区総合整備基本計画を策定し、令和8年度以降、各施設のスケジュールに基づき、調査・設計・工事に着手します。